

地 盤 調 査 特 記 事 項

第 1 章 総 則

第 1 節 一 般 事 項

1 調査計画書及び予定表	着手前に調査計画書及び予定表を提出し、区の承諾を受ける。
2 現場代理人及び管理技術者	現場代理人及び管理技術者を定め、書面をもって届け出て、 区の承諾を受ける。
3 埋設物の調査と事故防止	調査に際し敷地内及び附近の保安、交通等に関しては十分な安全対策を行いまた、調査に先立って、敷地内のガス、水道、下水道、電話、ケーブル等の埋設位置、深度等を関係官庁及び関係機関で調査し、その結果を図面化して提出する。

第 2 章 土 質 調 査 ・ 試 験

第 1 節 ボ ー リ ン グ

1 調査内容	敷地内 4 か所、深さ 50m 以下まで試料の採取や、標準貫入試験などの原位置試験を行いながら試錐機で掘り下げ、その地点の地質状況を調査する。地下水位に達した場合は、その深さを記録する。
2 ボーリングと試料採取	標準貫入試験を 1 m 毎に行いながら、所定の深度まで掘り進み、コア試料の採取を行う。また、シンウォールサンプラーを用いて乱さない試料を 2 か所採取する。

第 2 節 自然水位の測定

1 自然水位の測定	孔内水位は、調査終了まで毎日作業前に測定し記録する。
-----------	----------------------------

第 3 節 土 質 試 験

1 試験目的等	各種室内土質試験を行い、各地層の土質工学的特性を把握する。 試験結果表には、試験担当責任者の署名押印をする。
2 試験内容等	試験の種類は、次のとおりとする。 (1) 土質試験 (乱した粘性土)

物理試験	土粒子の密度試験 (JIS A 1202:1999)
	土粒子の含水比試験 (JIS A 1203:1999)
	粒度試験 (JIS A 1204:2000)
	液性限界試験 (JIS A 1205:1999)
	塑性限界試験 (JIS A 1205:1999)
	土の湿潤密度試験 (JIS A 1225:2000)
力学試験	一軸圧縮試験 (JIS A 1216:1998)
	三軸圧縮試験 (JGS 0521-2000～ 0524-2000)
	段階負荷による圧密試験 (JIS A 1217:2000)

第 4 節 孔内水平載荷試験

1 試験目的	ボーリング孔を利用して、孔壁に圧力を加え、その圧力と地盤の変形を測定し、地盤の降伏圧力、極限圧力及び変形係数 (E 値) を求める。
--------	--

第 3 章 調査結果の整理及び考察

第 1 節 報告事項及び考察事項

1 報告事項及び考察事項	報告書には、下記事項を記載し製本の上 3 部提出する。 (1) 調査概要 調査項目、調査個数、敷地の概況、調査位置、基準点と地盤の高低関係及びその他必要な事項。 (2) 調査結果及び地層概況の考察 柱状図（各地層の層厚、深さ、N 値、土質名、相対密度、コンシステンシー、孔内水位並びに色、においその他の観察記録）、推定地層断面図、各種試験結果（測定記録及び結果一覧）考察及びその他必要な事項。既存データの関連性などの検討を行う。 (3) 基礎設計及び施工に関する検討と提案 本敷地に計画されてる建物について、各種の基礎（直接または杭）の支持地盤及び許容支持力、沈下量の算定及び考察を行う。
2 土質標本	土質標本箱は、調査孔ごとに 1 組とする。ふたの内側にその調査孔の柱状図及び位置図を添付する。 容器及び標本箱は、全国地質調査協会連合会様式を標準とする。